

世界130か所以上で実施。大人から子供まで楽しめる世界最大のDIYイベント、今年は夏休みに開催

## 「Maker Faire Tokyo 2015」出展者・協賛企業募集開始 2015年8月1日（土）、2日（日）お台場・東京ビッグサイトにて！

株式会社オライリー・ジャパン（本社：東京都新宿区）は、「Maker Faire Tokyo 2015」を、2015年8月1日（土）、2日（日）の2日間、東京・お台場の東京ビッグサイトにて開催することを発表し、出展者、協賛企業の募集を4月8日（水）から開始いたしました。

オライリー・ジャパンは、雑誌「Make」日本語版の読者を中心に、2008年からエレクトロニクス（電子工作）、DIY、サイエンス、ロボット、アートなど異なるジャンルの「Maker」（作り手）たちの発表の場、交流の場である「Make: Tokyo Meeting」（MTM）、「Maker Faire Tokyo」を開催してまいりました。2014年11月に行われた「Maker Faire Tokyo 2014」は、300組の出展者、13,000名の来場者を迎え、盛況のうちに終了。今年は夏休み期間中の開催とすることで、お子様や遠方の方などより多くの皆さんに楽しんでいただけるイベントを目指してまいります。また、会場も西4ホール（+屋上展示場）で、昨年の約1.4倍の規模を予定しています。

3Dプリンター、レーザーカッターなどを活用したパーソナルファブリケーションの普及や、自らの製作した作品の情報（動画、製作方法、回路図、ソフトウェアなど）をソーシャルメディアなどを通じて公開することが一般的になるにつれ、個人の製作する作品が、以前よりも複雑かつ高性能なものになっており、イノベーションの誕生が期待されています。

本イベントには、テクノロジーを自由な発想で使いこなす「Maker」とその作品が多数集合。国内外の最新技術に触れられる貴重な機会を提供するとともに、モノを作ることの未来を提示します。

Makerムーブメントの全世界的な勢いは高まりつつあり、2015年にはMaker FaireとMini Maker Faireの開催地が全世界130か所を越え、合計約76万人以上の方が参加しています。

#### ■実施概要

- ・ 名 称：Maker Faire Tokyo 2015（略称：MFT2015）
- ・ 日 時：2015年8月1日（土）12:00～19:00、2日（日）10:00～18:00
- ・ 会 場：東京国際展示場（通称：東京ビッグサイト）東京都江東区有明 3-11-1 西4ホール、屋上展示場
- ・ 入場料：前売：大人 1,000 円、18 歳以下 500 円  
当日：大人 1,500 円、18 歳以下 700 円  
（チケットはプレイガイドにて5月上旬から発売開始）
- ・ 出展者数：350 組（予定）
- ・ 主 催：株式会社オライリー・ジャパン
- ・ URL：http://makezine.jp/event/mft2015（出展者、協賛募集情報を含む最新情報を随時ご案内する予定です）
- ・ ソーシャルメディア：Twitter @make\_jp #mft2015 / facebook https://www.facebook.com/MakeJapan  
Instagram make\_jp

■お問い合わせ先 株式会社オライリー・ジャパン 担当：鹿野（pr@makejapan.org）  
〒160-0002 東京都新宿区坂町 26-27 インテリジェントプラザビル 1F  
TEL: 03-3356-5227 FAX: 03-3356-5261

## ■ Make Tokyo Meeting (MTM) /Maker Faire Tokyo (MFT) 来場者推移

|         |             |            |                 |
|---------|-------------|------------|-----------------|
| MTM 01  | (2008年 4月)  | 30組 (出展者)  | / 600名 (入場者)    |
| MTM 02  | (2008年 11月) | 60組 (出展者)  | / 1,200名 (入場者)  |
| MTM 03  | (2009年 5月)  | 90組 (出展者)  | / 2,400名 (入場者)  |
| MTM 04  | (2009年 11月) | 140組 (出展者) | / 4,000名 (入場者)  |
| MTM 05  | (2010年 5月)  | 200組 (出展者) | / 7,200名 (入場者)  |
| MTM 06  | (2010年 11月) | 210組 (出展者) | / 8,000名 (入場者)  |
| MTM 07  | (2011年 11月) | 260組 (出展者) | /12,000名 (入場者)  |
| MFT2012 | (2012年 12月) | 240組 (出展者) | / 9,100名 (入場者)  |
| MFT2013 | (2013年 11月) | 250組 (出展者) | / 9,200名 (入場者)  |
| MFT2014 | (2014年 11月) | 300組 (出展者) | / 13,000名 (入場者) |

## ■取材につきまして

### ・事前取材のアレンジにつきまして

Makerムーブメントを支える人々、オライリー・ジャパン関係者の取材をアレンジ致します。

(注目の出展者情報、イベント詳細につきましては、6月中旬ごろに再度プレスリリースにてご案内申し上げます)

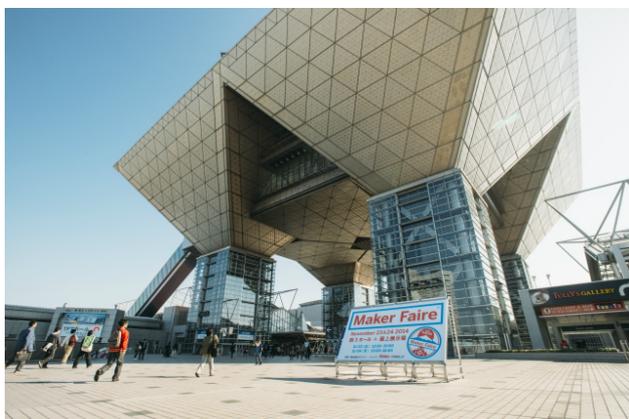
[pr@makejapan.org](mailto:pr@makejapan.org) までお気軽にご連絡ください。

### ・当日の取材につきまして

Maker Faire Tokyo 2015の当日取材の受付は、6月中旬より開始致します。

詳細は6月中旬発行のプレスリリースをお待ちください。

プレスリリースを含む報道関係の皆様への情報は <http://makezine.jp/event/mft2015/pressrelease/> にて公開の予定です。



## 参考資料① Maker ムーブメントとは？

# Make:

「Make: technology on your time」は 2005 年 2 月、米国の出版社 O'Reilly Media より、雑誌と Web サイトという形でスタートしました。

自宅の庭や地下室やガレージで、びっくりするようなものを作っている才能あふれる人たちのコミュニティが、現在どんどん大きくなっています。「Make」は、そうしたコミュニティ同士を結びつけ、刺激と情報と娯楽を与えることを目的としています。

「Make」は、すべての人が思いのままに、あらゆるテクノロジーを遊び、いじくり、改造する権利を称賛します。「Make」の読者は、自分自身、環境、教育—私たちの世界全体をよりよいものにするための文化、コミュニティとして成長を続けています。

雑誌と Web サイトの双方で、さまざまな作品やその作り手 (Maker)、読者自身が実際に作って楽しむことのできるプロジェクトを紹介していったところ、その記事を通じて、それまで個別に制作活動を行っていた Maker 同士のつながりが生まれ始めました。そのつながりはすぐに Maker 同士、Maker と読者が交流するイベントとして結実し、より大きなものになっていきます。「Maker Faire」の誕生です。

「Maker Faire」の成功により、「Make」は単なる雑誌ではなく、「Make」本誌 = ペーパーメディア、makezine.com (ブログ) = Web メディア、Maker Faire (イベント) = ソーシャルメディアの 3 つが織りなす一種のムーブメントとなりました。その活動は海を渡り、アメリカのみならず、全世界でイベントを行うまでに大きくなっています。**現在 Maker Faire、Mini Maker Faire は世界約 130 か所以上で開催され、2014 年 5 月にサンフランシスコで開催された Maker Faire Bay Area 2014 には約 13 万人が来場しました。その他の主要な Maker Faire が開催されているのは、デトロイト、カンサスシティ、ニューカッスル (イギリス)、ローマ、東京です。2014 年 11 月に日本で開催された「Maker Faire Tokyo 2014」には約 300 組が出展、13,000 名が来場しています。**

日本でも、新しい「もの作り」の形として、Maker ムーブメントが注目を集めています。「Make」はそんな人たちを広く紹介し、さまざまなものづくりの知識や経験を共有し、交流する場を生み出しています。「Maker Faire」は、実際に Maker たちが試行錯誤して作り上げたものや卓抜な技術を発表する場所であり、人 (Maker) と人 (来場者やあらたな Maker) が出会う刺激的な場所になっています。

※日本では、株式会社オライリー・ジャパンが Maker Media 社の International Partner として、雑誌 (「Make」日本語版)、イベント (Maker Faire)、ウェブサイト (makezine.jp) の発行・運営を行い、日本の Maker を支援する活動を展開しております。

## 参考資料② Maker Faire Tokyo 2014 出展者紹介 (一部)



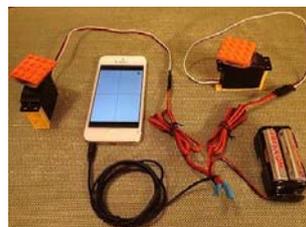
### スケルトニクス株式会社

「人間以外の動力を利用しない」「四肢の動きを 2 倍程度に拡大する」というコンセプトの人が搭乗して操作する外骨格 (メカニカルスーツ)



### ヒゲキタ

直径 5.6m のドームと恒星数 5800 個のピンホール式プラネタリウム投映機。赤青メガネを使った 3D 映像投映機で、星空と 3D 映像を鑑賞します。



### GlueMotor

一般的なホビー用サーボモーターを、お手持ちのスマートフォンやタブレットのヘッドフォン端子に「プラグ&プレイ」してしまうための簡単なケーブルです。



### ソラカムプロジェクト

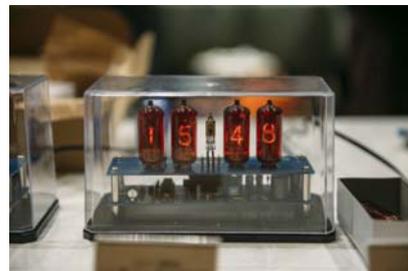
スノーボーダー向け自動追尾空撮ドローン "SoraCam" を開発するプロジェクト。

## 参考資料③ Maker Faire Tokyo 2014の様子

2014年11月23日(日)・24日(月・祝) 於: 東京ビッグサイト 西3ホール+屋上展示場



Oculus Riftによるバーチャルリアリティー関連の展示が目立った。



ニキシー管で作った時計。



会場内にはゾンビも出没。



電気自動車に改造したトレノ AE86 型。



三体のロボットがホットサンドを作ります。



こどもが参加できるワークショップも充実。



技術力の低い人限定ロボコン「ヘボコン」も。



電子工作だけでなく、手芸作品も多数展示されているのも特徴です。



多くの人が発表を行ったプレゼンテーション。